

# 第1学年社会科学習指導案

日時 平成17年9月28日(水) 2校時

場所 1年5組教室

学級 1年5組

男子19名 女子15名 合計34名

指導者 岸田 真一

## 1 単元名

第2編 地域の規模に応じた調査 第1章 身近な地域の調査

## 2 単元の目標

### 【社会的事象への関心・意欲・態度】

・身近な地域の調査に意欲的に取り組み、特色をとらえることができる。

### 【社会的な思考・判断】

・身近な地域に見られる地理的事象について、さまざまな視点から考えることができる。

### 【資料活用の技能・表現】

・身近な地域に関する地形図や統計資料を活用し、地域の変化や特色を読みとることができる。

### 【社会的事象についての知識・理解】

・地形図に記されている地図上の約束(縮尺・等高線・地図記号など)について、正しく理解し、その知識を身につけている。

## 3 単元について

### (1) 教材について

本単元について、学習指導要領では、地理的分野「(2)地域の規模に応じた調査」の「ア 身近な地域」において「身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めさせるとともに、市町村規模の地域的特色をとらえる視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身につけさせる。」と記されている。

以上の内容を踏まえた上で、本単元では、生徒の生活舞台である水沢市について学習する。日常生活の中で経験していることがそのまま学習対象になるということから、単元を通して意欲的に学習を進めていくことが期待できる。特にその中でも、観察や調査活動を通して水沢市の地域的特色を理解し、郷土に対する関心を高めること、地形図や統計資料をしっかりと読み取り、活用の技能を高めることを本単元における基礎・基本的内容ととらえ、この点を中心に学習活動を展開する。また、以後の「都道府県」「世界の国々」と続いていく地域の規模に応じた調査の学習においても、本単元で学習する地域的特色のとらえ方を活用することが欠かせない。その意味でも本単元についてはより丁寧な指導を計画し、地理学習の基礎ともいえる事柄をしっかりと身につけさせる必要があると考える。

### (2) 生徒について

本時の授業を行う1年5組の生徒は、社会科の学習が好きな生徒が比較的多い。授業前に行っている定着度確認テストにおいても、多くの生徒がしっかりと取り組み、力を向上させたいと考えている。しかし、授業中での問いかけに対して、挙手・発言をする生徒は一部の生徒に偏り、自分の意見を周りに発表することに対し

て苦手意識をもっている生徒も少なくない。また、一問一答の問いに対しては、おおむね反応はいいが、理由を考えたり、資料からわかることを考えたりする学習活動に対しては積極的に取り組む生徒は少ないように思われる。

### (3) 指導について

本単元では、地形図や統計資料を活用すること、観察・調査に意欲的に取り組むことをねらいとした学習活動を行う。その中でも特に本時の学習では、新旧の地形図を比較することから明らかになる地域の変容や特色を考える力、課題解決のために必要となる資料を選択し、資料の表している内容を正確に読解する力をしっかりと身につけさせるための学習活動を展開していく。また、今までの学習状況や事前に行った社会科学習についてのアンケートを参考に、努力を要する生徒をあらかじめ把握する。学習指導中の形成的評価を重視し、個（本時では思考・判断が不得意な生徒を中心に）に対応した指導を行い、生徒一人一人が主体的に学習に取り組む態度を育成していく。そして、地域の特色をとらえるためには、地形図や統計資料の活用が大切であるということ意識させ、今後の学習につなげるとともに、地域に対する理解を深め、将来の地域のあり方について考えさせていきたい。

### 4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
身近な地域の調査に意欲的に取り組み、特色をとらえようとしている。	身近な地域に見られる地理的事象について、さまざまな視点から考えることができる。	身近な地域に関する地形図や統計資料を活用し、地域の変化や特色を読みとることができる。	地形図に記されている地図の約束について、正しく理解している。

### 5 指導・評価計画（10時間）

時	学習活動	評価規準			
		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
1	統計資料の読み取り方について学習する。			統計資料からグラフを作ることができる。	
2 3 4	地形図の読み取り方について学習する。			地形図を通して、学区の様子を読みとることができる。	地形図のきまりについて理解する。
5	地域のフィールドワークをしながら、実際の地域の様子が地形図にどのように表されているか確かめる。	フィールドワークに意欲的に取り組み、実際の地域の様子を進んで学習しようとしている。			
6 (本時)	地形図と統計資料の読み取りから、地域的特色の変化の理由を考える。		資料から地域的特色の変化について考えることができる。		
7	学習課題を設定する。		地域的特色をとらえるような学習課題を考えることができる。		
8・9	観察・調査活動を実施する。	観察や調査に意欲的に取り組んでいる。			

10	調査結果をまとめる。			調査結果を報告書にまとめることができる。	
----	------------	--	--	----------------------	--

## 6 本時の指導

### (1) ねらい

- ・水沢市に関する新旧の地形図や統計資料から、地域的特色の変化した理由について考えることができる。

### (2) 本時の展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点	資料・評価の観点【方法】
導入 10	<p>1 前時の確認 ・地図記号の5問テストをする。</p> <p>2 学習課題の提示 (1) 演習課題を設定する。 なぜ、水沢市の耕地面積は年々減少しているのだろうか。 (2) 学習課題を提示する。 水沢市の変化を資料から考えよう。</p>	<p>・土地利用の地図記号を確認させ、地形図の読み取りへとつなげる。</p> <p>・グラフ(水沢市の耕地面積の変化)から、耕地面積が減少していることに着目させる。 ・本時はこの演習課題の解決を図ることで、前時までの統計資料の読み取りと地形図の読み取りの学習のまとめ・応用の時間であることをとらえさせる。</p>	<p>・フラッシュカード(地図記号)</p> <p>・グラフ(水沢市の耕地面積の変化)</p> <p>・紙板書(演習課題)</p> <p>・紙板書(学習課題)</p>
展開 35	<p>3 予想 (1) 演習課題について予想する。 (2) 予想を発表する。</p> <p>4 追究 (1) 新旧の地形図から水沢の変化を読み取る。(個) (2) 発表する。(一斉) (3) 変化した理由を考える。(個)</p>	<p>・生徒が住んでいる地域の変化を思い起こさせ、予想させる。</p> <p>・多様な予想が出るように配慮するとともに、他の生徒の予想も取り入れて、自分の予想をもたせるようにする。</p> <p>・読み取った変化の様子を、新しい地形図に朱書きさせる。 ・地形図の読み取りができない生徒には、身近な建物や道路などの位置を確認させ、変化に気づかせる。</p> <p>・変化した前後の土地利用をおさえさせる。</p> <p>・自分が見つけた変化について、裏づけとなる資料を選択させ、理由を考えさせる。 ・理由が考えられない生徒には、次の支援を行う。 ・適切な資料選択、読み取りの支援</p>	<p>2万5千分の1地形図(1970年・2003年)</p> <p>プリント(水沢市に関する統計資料)</p>

	<p>(4)発表させ、変化した理由を考える(一斉)</p> <p>(5)演習課題についてまとめ。</p> <p>農業人口が減り、農地を手放す農家が増えるとともに、人口の増加につれて、住宅・工場・大型店・道路などが建設されるようになったため、耕地面積が減少した。</p>	<p>・発表内容を全員で確認する。</p> <p>・地形図の比較や統計資料の読み取りからわかったことを、演習課題に対応させる形でまとめさせる。その際、開発が市の郊外に広がっていること、土地の需要供給の関係を農業者・消費者の視点からふれる。</p>	<p>[評価1]</p> <p>水沢市に関する新旧の地形図や統計資料から、水沢市が変化した理由について考えることができる。(思考・判断)</p> <p>【ノート・発表】</p>
まとめ5	<p>5 本時の学習を振り返り、感想を書く。</p>	<p>・本時の学習課題「水沢市の変化を資料から考えよう。」を再度確認し、地形図と統計資料の活用が地域の特色や変化を考えるために必要だということを説明する。</p>	<p>[評価2]</p> <p>・水沢市が変化した理由について、(B)地形図と統計資料から考えることができたかを見るとともに、(A)地形図と統計資料を関連させて考えるよさについて記述しているかを評価する。</p> <p>【ノート】</p>

(3) 本時における評価規準および具体の評価規準

評価規準		水沢市に関する新旧の地形図や統計資料から、水沢市が変化した理由について考えることができる。(思考・判断)
具体の評価規準	十分満足(A)	地形図と統計資料を関連させて考えるよさがわかり、水沢市が変化した理由について、統計資料や地形図から考えることができる。
	おおむね満足(B)	水沢市が変化した理由について、統計資料や地形図から考えることができる。
	努力を要する生徒への支援	地形図の比較から確認した変化を一つ選ばせ、関係するグラフの読み取りを行わせ、ノートに記入させる。